



『いきいきとした地域づくりを目指して』

今回は、大曲地区の地域づくり、コミュニティ活動の要として活動されている『大曲地区生涯学習振興会』様を取材させていただきました。

生涯学習振興会とは、「生活文化の向上や健康の保持増進、青少年の健全育成、社会福祉の向上、生涯学習の振興を目的に、様々な事業を実施」する組織として、「地域に住む方々が主体的に企画・運営」し「中学校区を活動の基本」として地域ごとにそれぞれ特色を出した事業展開を図っているそうです。

北広島市には、西の里地区・西部地区・大曲地区・東部地区 の4地区に生涯学習振興会があります。

大曲地区では、「ゴロッケー大会」や「ソフトボール大会」「いきいき雪遊び大会」「文化祭」など、地域に根ざした歴史のある事業が継続され実施されているそうです。また、地域のニーズなどをふまえて毎年40近くの教室・講座が行われています。「陶芸教室」や「大曲歴史講座」、「クッキング教室」「寄せ植え体験教室」「リース作り」など取り上げる分野は実に多岐にわたっているそうです。

コーヒー教室



パステルアート教室



ピザづくり教室



燻製づくり教室



夏休みや冬休みには、こどもたち向けの「生活リズム向上事業」として「スポーツ教室」や「化石のレプリカづくり」「サイエンス教室」などを実施したり、子育て世代を対象とした「子育て講座」なども実施しているそうです。

これからも元気なまちづくりを目指して取り組んで行って欲しいと感じました。

＜ 営業部 : 高島(卓) ＞

『ちとせスマイル保育園 開園！！』



今回は、千歳市住吉5丁目1-24にありますちとせスマイル保育園様をご紹介します。

この園は平成30年4月1日に開園し、現在0歳クラス(ひよこ組)4名 1歳クラス(りす組)8名 2歳クラス(うさぎ組)5名の園児16名が在籍しています。同園の定員は18名となっておりますが、最大22名まで、受け入れ可能です。

園内は、明るく開放的でとても清潔感があり、園児達は毎日笑顔で、楽しく遊んでいます。



現在11名の保育士さんが、いつも笑顔で子どもたちとすごしております。また、栄養士1名、調理師1名も在籍しており、園内の厨房で毎日、おいしい給食やおやつを作っています。

ホールやお部屋の床は、バレエダンス用のリノリュームという材質の床を使用しており、靴下を履いたままでもすべりにくく、転倒しても痛くない、安全な床となっております。更に、各お部屋の床は、床暖房になっており、エアコンも完備されております。セキュリティ面も充実しており、正面玄関はICカードシステムで管理されております。また、園児がドアに手や指を挟んでも痛くないチャイルドドアも各所に設置されており、お父さん、お母さんも、安心ですね。



随所にケガ防止の配慮



外観



明るく快適な園内で毎日楽しく遊んでいます♪



みんなで給食「いただきます♪」

入園のお問い合わせ、詳しいお問い合わせは

TEL 0123-21-8892 ちとせスマイル保育園 担当: 澤崎様まで ホームページ <http://eniwa-smile.com/>

＜ 営業部 : オフィスソリューション担当 佐々木 ＞

『行って来ました！国立科学博物館！』

現在国立科学博物館では、特別展「人体-神秘への挑戦」を3月13日から6月17日まで開催しています。



私がピビッときた
ヴェサリウスのファブリカ

正直勉強得意じゃ無いし、理科なんて不得意科目だし、生物なんて顕微鏡で微生物が動いているのを見るのも鳥肌が立つし、ダヴィンチはモナリザだっけ？の現代の小学生より低レベルな私がなぜこの特別展に興味を持ったのかというと、ホネホネロックが考えちゃってる絵を見たからです。きちんと申し上げますと、ヴェサリウスのファブリカに記載されている人体骨格図を見たからです。低思考の私的には、意思を持たないホネホネロックが考えてるよ！すごいよ！と思ったわけです。以下低レベルな私なりの感想なのでお許しください。
朝9時半に上野着。国立科学博物館は、ぎゅうぎゅうでは無いにしても沢山の人が来ていました。入口で音声ガイドの貸し出しをしていたので知識的に不安なので借りましたが・・・。正解でした。パネルもそう難解ではないのですが、パネルと展示品を見て再度ガイドを聞くと、よりすんなり理解できる感じでした。(ガイドは小島瑠璃子さんがされていました)

会場には、ダヴィンチが書いた解剖手稿やヴェサリウスのファブリカ、18世紀に作成された人体模型(ワックスモデル)、キンストレーキ(紙製人体模型)など、大変貴重なものが展示されていました。実際の臓器の展示もあり、見たい人だけがみれるように壁の後ろに隠されていました。流石に臓器は見たら具合悪くなるかなと思いましたが滅多に見れる物でもないし見ちゃえー！と見てみたら普通でした。その後ちゃんと食事もできました。

個人的に興味を引いたのはレーウェンフックの顕微鏡です。レーウェンフックは織物商人なのですが生地品質を見るために自作で顕微鏡を作った人です。それがすごーく見えちゃった。見えちゃったことが楽しくて、さらにさらに見えるように自作しちゃいます。そしていろいろな発見するのです。この楽しーーーって好奇心大事ですよ。初期の顕微鏡が展示されていましたが、これ顕微鏡？という鉄板にねじとちっさいレンズがついたものでした。

現代では臓器を通り越して神経や細胞レベルでの研究が進んでいます。普段ぼーっとしているときってありますよね。この時脳は大量の電気信号を発生しているそうです。そしてそれが閃きにつながるそうです。ぼーっとすることも大事なのですよ。そして、会場内でやっと、写真撮影可能だったネットワークシンフォニー。今までは脳が全身に指令を出していると考えられていたのですが、実はそれぞれの臓器が信号を送り会話しているそうです。

ネットワークシンフォニー
天井に心臓とかがある



レゴブロックで作った『タモリさん』の人体模型。
NHKスペシャルで使われたものです。



↑ 筋肉と脳の会話



レーウェンフックの顕微鏡 1673-1723年頃 フォルハーフェ博物館
©Rijksmuseum Boerhaave, Leiden V30337

レーウェンフックの顕微鏡

心臓の会話 ↓



その昔、人体解剖図は猿を解剖したものだったそうです。多分猿を解剖する事だけでも大変なことだったと思います。ですがもっと人体を知りたい、もっと正確に人体を知りたいという知識的欲求が現代につながっています。現代も遠い未来から見れば遠い過去です。今私たちの思いが未来に続くことを感じた特別展でした。

< 業務部 : 兼澤 >

『水と緑のふれあい基金』の『フラワーポット貸し出し事業』を

活用させていただき、平成28年度から設置しています。身近に花や緑があると心穏やかに、なんだか優しくなれる気がするの個人的感想でしょうか…。



発行元 : (株) カミノ
TEL : 0123-23-4255 / FAX : 0123-24-1381
E-mail : kamino@kamino.co.jp
ホームページ : <http://kamino.co.jp/>
(カミノトピックスのバックナンバーもご覧いただけます)